解　説

第20章　　　医療・衛生・環境

医療施設数、病床数

病院数、病床数ともに減少、一般診療所数は増加

　医療施設調査によると、令和5年10月1日現在の病院数は502施設(一般463施設、精神39施設)で、前年に比べ4施設減少しました。

一般診療所は8,877施設、歯科診療所は5,411施設で、前年に比べ一般診療所は56施設増加し、歯科診療所は57施設減少しました。

病床数は10万2,753床で、前年に比べ1,257床減少しました。

病院数、病床数

[第20章1表より]

死因別死亡数

4人に１人はがんで死亡

　人口動態統計によると、令和5年中の死亡数は10万4,964人で、2年連続で10万人を上回りました。最も多い死因は悪性新生物(がん)で2万6,725人(構成比25.5%)、次いで心疾患(高血圧性を除く)1万6,882人(同16.1%)、老衰9,981人(同9.5%)で、これらで全死亡数の半数以上を占めています。

令和4年は、18年ぶりに脳血管疾患が肺炎を上回りましたが、令和5年は、肺炎が脳血管疾患を上回りました。

主な死因別死亡数



[第20章15表より]

感染症・食中毒・結核

新型コロナウイルス感染症の患者数が大幅に減少

大阪府健康医療部によると、令和5年の感染症(『全数把握』のもののみ)・食中毒・結核の患者総数は36万7,917人で、前年に比べ198万3,578人(84.4%)減少しました。

類型別では、新型コロナウイルス感染症が36万3,120人(前年比198万4,260人、84.5%減)と大幅に減少した一方、結核は1,145人(同27人、2.4%増)、食中毒は424人(同202人、91.0%増)、梅毒は2,017人(同194人、10.6%増) と、いずれも増加しました。



新型コロナウイルス感染症患者数

感染症・食中毒・結核患者数 (新型コロナウイルス感染症除く)

[第20章17表より］

ごみ処理

排出総量は減少

　大阪府環境農林水産部によると、令和4年度のごみの排出総量は289万ｔで、前年度に比べ3万8千ｔ(1.3%)、10年前(平成24年度)に比べ51万4千ｔ(15.1%)、それぞれ減少しました。

資源化された量は38万9千ｔ、リサイクル率は13.4%で前年度に比べ0.1ポイント増加し、10年前と比べると1.2ポイント増加しました。

ごみの排出総量、リサイクル率



[第20章20表より]